

2023年度第6回理事会議事録

一般社団法人 栃木県バスケットボール協会

1. 招集年月日 令和6年3月4日
2. 開催日時及び場所
 - (1) 開催日時 令和6年3月26日火曜日午後6時半
 - (2) 開催場所 文星芸大附属高校総合研修センター
3. 理事・監事数及び出席理事・監事数
 - (1) 理事数 28人、特任理事数 2人
 - (2) 出席理事数 13人
出席特任理事数 2人
4. 出席理事の氏名
小曾戸和彦、齋田一郎、鈴木克美、直井秀幸、藤本光正、渡邊整、小林幹央、益子基久、山田将樹、菊地宜秀、齋藤宣子、佐藤圭一、大保寺真也、永島幸介（増淵理事の代理）
5. 出席特任理事の氏名 高橋哲夫、日向野剛
6. 報告事項
 - (1) 活動報告
 - ①U12 R6年度前期トップリーグ戦開催要項について
関東ミニバスケットボール大会結果について（U12佐藤理事）
 - ②社会人連盟
第6回全日本社会人バスケットボール選手権大会結果について
R6年度第7回栃木県社会人バスケットボール連盟オープントーナメントについて
第4回栃木県社会人バスケットボール連盟フレンドリー交流大会について（菊地理事）
 - ③3x3 3x3 2024市長杯の結果について
3x3U12・U15栃木県大会結果について（菊地理事）
パリ2024 FIBA 3x3 UOQT2 宇都宮開催に伴う日本代表選手の練習会場提供について（専務理事）
 - ④その他 CMSサイト導入について
本県の協会ホームページが現在事務局員の手で主に操作されている。
今回、JBAがTOPPANの協力を得てWEBサイトの見やすさや更新作業の簡素化を目指している。費用の面でもD-fund対象経費で賄われるため有効である。
そこで、今回栃木県協会ホームページをこの形に変更したいと考えている。今後さらにTOPPANさんと打ち合わせを重ねてホームページのリニューアルを図っていくのでご承知おきいただきたい。
7. 審議事項
 - 第一号議案 今年度補正予算案について
 - 第二号議案 R6年度当初予算案について
 - 第三号議案 R6年度行事予定について
8. 議長の氏名
小曾戸和彦（会長）
9. 議事経過の要領及びその結果

会長小曾戸和彦から、本日の理事会は定足数を満たしているので適法に成立する旨告げたのち、会長小曾戸和彦が議長となり審議に入った。

議長により、定款第30条第2項の規定により次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、議場に諮ったところ全ての理事の一致をもって次の者が議事録署名人に選出された。

議事録署名人 菊地 宜秀
同 佐藤 圭一

第一号議案

専務理事より説明

(内容) 一号議案から三号議案まで関連性があるため一括審議をお願いしたい。

まず、一号議案であるが、今年度の補正予算として収入増のところが二点ほどある。

一点目は、受取寄付金の増額である。内容は、宇都宮市協会・鹿沼市協会からの寄付金である。

また、支出については現在までの事業費支出額を反映したところ、約5百万円の増となった。

その結果、当初予算では期末収支がプラスマイナス0であったが、補正後は約5百万円の黒字となる

続いて、二号議案の当初予算であるが、今年度と比較して大きく増額となるところが三点ある。

一つは、登録料の増額によるもので、チーム登録料並びに競技者登録料のところがそれぞれ倍増となる。

二つ目は、事業費収益の増額である。これは、来年度Wリーグ二カードの他、非常に大きな大会を誘致できたための収入増を反映してのことである。

三つ目であるが、大きな大会の開催に伴う経費支出増による事業費経常支出の増加である。

当初予算の段階のため、収入については最小で計算、支出については最大を見込んで予算案を立ててみた。

最終的には、期末残高が二百万円となった。

続いて、三号議案の行事予定である。

先ほどからご説明している通りR6年度はゴールデンウイークの3x3に始まり、Wリーグが二回、その他、天皇杯・皇后杯一次ラウンド、皇后杯二次ラウンド、関東高校新人大会・関東ミニバスケットボール大会など、非常に大きな大会が開催される。

詳細は行事予定表をご覧ください。なお、一部訂正箇所があるため、後日メールにて正式版をお送りする。

以上、ご審議願いたいとの説明がある。

これを議場に諮ったところ、満場異議なく原案通り可決決定した。

以上ですべての議案の審議を終了したので、午後7時20分に閉会した。

以上の議事のでん末を記録し、これを証するため署名する。

2024年3月26日(火)

議 長

氏 名 小曾 亨 和 彦

議事録署名人

氏 名 菊地 宜 秀

議事録署名人

氏 名 佐 藤 圭 一